

元ヤマハ株式会社従業員 『MIDI 生涯功労賞』 受賞のお知らせ

米国のMIDI規格管理団体であるMIDI Associationは現地時間1月23日（木）、MIDIの開発・発展への貢献を評し、ヤマハ株式会社（以下、当社）の元従業員である平野勝彦氏（故人）と西元哲夫氏に『MIDI Lifetime Achievement Awards 2025（MIDI 生涯功労賞）』を授与しました。表彰式は米国カリフォルニア州アナハイムにて現地時間1月21日から25日まで開催した楽器見本市「2025 NAMM Show」のMIDI Associationブースで行われ、一般社団法人音楽電子事業協会（AMEI）MIDI規格委員会委員長であり、当社の電子楽器事業部電子楽器開発部音源プラットフォームグループ長の三浦大輔が代理で同賞を受け取りました。



表彰式の様子。左から3人目が三浦大輔

MIDI（Musical Instrument Digital Interface）は、当社をはじめ日米の楽器メーカーが制定した、電子楽器やコンピュータに音楽の演奏情報を伝達するための統一規格です。メーカーや機種にかかわらず演奏データをデジタルで送受信できることから、電子楽器の世界を飛躍的に成長させ、音楽制作の発展にも大きく寄与しました。



平野勝彦氏



西元哲夫氏

平野氏はMIDI規格制定にあたり、日米の楽器メーカーチーム間のコミュニケーションを指揮したことが評価されました。また、西元氏は、重要な技術検討と仕様提案を行ったことが評価されました。MIDI規格の誕生後、MIDIの今後の運用を検討する協議会が国内に発足し、平野氏は委員長としてMIDI規格の普及・発展に努めました。また、当社では1983年、MIDIを初めて搭載したデジタルシンセサイザー『DX7』を発売しました。平野氏・西元氏は『DX7』の開発を牽引したメンバーでもあります。



当社として、MIDI を初めて搭載したシンセサイザー『DX7』

■ ヤマハ株式会社電子楽器事業部長 阿部征治のコメント

電子楽器業界全体のこれまでの発展に、演奏情報の規格化は必要不可欠な要素でした。実際の規格策定に携わった平野氏、西元氏の功績が評価され、このたびの受賞となったことを大変誇りに思います。今後も、当社製品に搭載される MIDI を通じて、世界中のお客様の楽器演奏や音楽制作を支援し続けてまいります。

* 文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

* 掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：川本

TEL. 050-3148-8660

ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/ (取材申し込みや広報資料請求が可能です)
